

別記様式

		担当課	総合政策課
会議の名称	平成29年度 第4回鴻巣市まちづくり市民会議		
開催日	平成29年10月26日(木)		
開催時間	午前9時00分 開会 ・ 午前11時50分 閉会		
開催場所	鴻巣市役所 1001・1002会議室		
議長(委員長・会長)氏名	会長 一瀬 隆一		
出席者(委員)氏名 (出席者数)	一瀬隆一(会長) 松澤敏夫(副会長) 青木照男 神下光勝 日比暁美 船塚和雄 大森由恵 佐藤智之 佐藤百合子 安野悦男(10名)		
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)	なし		
事務局職員職氏名	総合政策課長 齋藤隆志 総合政策課主任 古川優介 こども未来課長 岩間則夫 保育課長 佐々木晴美	総合政策課副課長 谷広明 総合政策課主事 千葉佳代 健康づくり課長 清水恵子	
傍聴者	なし		
次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 前回の議事について 4 議事 (1) 対象施策及び重点基本事業の取組評価の報告 (2) 対象施策及び重点基本事業の課題・改善点の検証 Aグループ 2-3: 子ども・子育て支援の充実 Bグループ 6-3: 効率的な行財政運営の推進 5 その他 ・ 次回の審議会の予定等について 6 閉会		
会議の内容	(決定事項など) 「4 議事」について、Aグループ(会長進行)・Bグループ(副会長進行)に分かれ、それぞれ「第6次総合振興計画で定める施策概要」及び「成果向上に向けた取組提案シートにてまとめる施策・基本事業の取組評価」を事務局より説明後、審議。 審議の結果、課題・改善点として以下の内容を整理。これらの課題を次回の審議でさらに掘り下げ、課題解決のための取組提案をまとめることとなった。		

## 【Aグループ 「2-3：子ども・子育て支援の充実」】

- 1) 平成27年3月「子ども・子育て支援事業計画」の策定に伴った、育児応援行政サービスサイト「ママフレWEB」や子育て支援アプリが周知されていない。子育て世代は主にスマートフォンから情報収集をするため、広報紙に掲載しても浸透しない。現行のHPではバナー表示がなく目に付かないため、簡単にアクセスできるような工夫や情報発信方法の検討が必要。保育所情報や予防接種のお知らせが配信されるなど有用であることから、母子手帳交付の際にダウンロード勧奨し活用していく。

### 《課題・改善点》

- 子育てに関する情報発信の充実と活用方法の方策

- 2) 子育てナンバーワンのまちの実現に向けた鴻巣市独自の事業として、「教育費の無償化」「任意予防接種の無料化」「オムツ代の補助」等の一步先を行く経済的支援が必要であると考え。一方で、医療費の助成等、新しいことをチャレンジしたくとも財源不足が課題である。

### 《課題・改善点》

- 子育て家庭の経済的負担の軽減方策

- 3) 子育てしながら働きたい母親のニーズに応えるため、短時間・短期間の就労が可能となるようジョブサポートこうのすや企業と連携する必要があると考え。また、出産や子育てに伴い離職した人のために、各種情報の収集や提供、再就職のための相談体制等充実した職場復帰支援の方策の検討が必要。

### 《課題・改善点》

- 仕事・子育てが両立できるためのワーク・ライフ・バランスの推進方策

- 4) 特定の保育所に人気集中しがちであることから、これを解消するために市内保育所のレベル・サービスの均一化、質の向上が必要であり、駅でのピックアップ制度や遠方への送迎サービス等、地域性を考慮しながらクラスや保育所の適正な規模や取組を検討するべきである。絵本やおもちゃ等の充実のみでなく、乳幼児期から“こころを育てる”ことに取り組む必要がある。

### 《課題・改善点》

- 保育の質の向上・充実の推進方策

- 5) 家庭で孫を保育している祖父母にとって、終日世話をするのは精神的にも体力的にも困難な状況である。保育所による園庭開放や児童センターの活用だけでなく、より気軽に利用できる自宅近くの公園で園児と一緒に遊べる仕組みがあると良い。

また、地域と学校の連携を図り、登下校時の旗振りなどをサポーター（見守り隊）や町内会・自治会が協力し、地域全体（家庭・学校・地域）において子どもを守る体制や子育てを支援する体制を構築するべきである。さらに、地域の大人や親子の交流、仲間づくりや育児相談、情報提供ができる地域の子育て支援の拠点となるような取組の検討が必要と考える。

### 《課題・改善点》

- 地域で子どもを育むための家庭保育と地域コミュニティの取組方策

## 【Bグループ 「6-3：効率的・効果的な行財政の運営」】

1) 重点基本事業である「公共施設等マネジメントの推進」の前提には、施策数値目標の一つにもある行財政の健全化が必須事項といえる。

公共施設等の縮減（痛み）を目標とする以上、市の内部でも財政健全化を積極的に実施し、その実情を伝えるべき。

### 《課題・改善点》

●市の努力姿勢も網羅した、市民に対し財政状況を分かりやすく伝え、理解を求める工夫

（例：財政健全化計画（白書）の作成、行政評価サイクルへの第3者の参加など）

2) 施設最適化にあたり、行政側が限界と思うことも、市民目線で見ただけで無理・無駄が隠れている可能性もある。

公共施設等総合管理計画では12評価を試みているが、12評価の数値等も含めたデータの公開を行うことが理解向上には必要。

### 《課題・改善点》

●個別施設単位で、必要とする数値の取得と公開

（例：施設白書による、管理形態（直営or委託）やコストなどのまとめ  
公共施設等総合管理計画に記載されていない「新規施設」の状況 など）

3) 多くの予算が必要となる重点基本事業推進のためにも、歳入増・歳出減をめざすことは必須事項といえる。

### 《課題・改善点》

●歳入向上策

（例：ふるさと納税の充実化、市有施設（備品系）の有料化の徹底 など）

●歳出抑制策

（例：施設廃止後の使い方を長期的に検討。バス利用等で代替利用も可能。など）

4) 個別施設毎にも、施設なりの良さであり課題があるのは自明のことであり、目的と役割にあった使われ方を、再検証することが必要。

### 《課題・改善点》

●個別施設毎の有効な使い方

（例：①陸上競技場、クリアこうのす

⇒ 誇るべき施設であり、適正価格で、もっと市外の方にも利用させて稼働させるべき。

②市民活動センター

⇒ フリースペースの有効活用と利用料設定  
（広過ぎでもったいない）

③市営住宅

⇒ 財務省官舎は空き部屋が目立つように思われるし、市と国が協働した住宅提供が望めないか。

④消防分団器具置き場

⇒ 人口減少が不可避な中で、施設更新検討に当たっては分団再編も議論するべき

⑤コミュニティふれあいセンター 田間宮生涯学習センター  
⇒ ほぼ同一用途の施設は、名称などに捉われず、まとめるターゲットとするべき

5) 施設の最適化には、前例や慣例に縛られることなく、一方でしっかりとした過去の検証の上に立って、取り組むことが必要。

《課題・改善点》

●市民目線でみた、施設のあり方

(例：合併の効果検証の実施による、現鴻巣市に必要な施設の整理  
市民サービスの提供を市内に拘らないで行う方法 など

5 その他

- ・ 次回を11月29日(水)、9時より行うことを確認。
- ・ 通知と合わせ、取組提案シートの「課題・問題欄」を埋めたものを、1週間前後で送付する旨、伝える。

配布資料

- ・ 平成29年度 第4回鴻巣市まちづくり市民会議次第
- ・ 第3回会議議事録(簡易版)
- ・ 【完成版】施策6-1 コミュニティ活動の推進 成果向上に向けた取組提案シート
- ・ 【完成版】施策2-1 健康づくりの推進 成果向上に向けた取組提案シート
- ・ 施策2-1 子ども・子育て支援の充実 成果向上に向けた取組提案シート
- ・ 施策6-3 効率的な行財政運営の推進 成果向上に向けた取組提案シート
- ・ 鴻巣市公共施設等総合管理計画